
題名のない短編小説 その4

彩月空

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

題名のない短編小説 その4

【Nコード】

N9727C

【作者名】

彩月空

【あらすじ】

えーっと、これは私の作った詩から生まれた物語です。ドラマチックな展開って、現実が起こりうるものなのかもしれない。現実は小説より奇なり。それがテーマの短編です。

ドラマチックな人生を生きてください。

キャスト

- A (男・主人公)
- B (男・友だち)
- C (女・店員)

喫茶店。

AとBは向かい合って座っている。

B、おしほりで手をふく。

A、メニューをぱらぱらとめくり、C

を呼び。

A 俺、ホットコーヒーで。

B 俺も、それで。

C、注文を書き込み。

C ホットコーヒー2つで。

はい。

C、上手へ入る。

AとB、軽く雑談を交わす。

間。

C、お盆に2つのカップを乗せ、再び

上手より登場。

C お待たせしまし。

ドラマチックな人生を生きてください。
これは、リハーサルではないのだから。

C、コーヒーをAにごぼす。

A、慌てて立ち上がる。

熱っ。(叫ぶように)

す、すみません。

C、机の上に置いてあるおしほりを手

C に取り、Aの服を拭きながら。

本当にすみません。ご洋服が……。

A いえ、大丈夫です。そんなに気にしないでくだ

さい。

C でも。(泣きそうな表情で)

A 大丈夫ですから。(安心させるような声で)

ドラマチックな人生を生きてください。

C、逡巡する仕草。
間。

C やっぱり、クリーニング代くらいは出させてく
ださい。私の気持ち収まらないので……。

A ん〜。それじゃあ……。

A ポケットから携帯電話を取り出
す。

A

メアドでも教えてもらえませんか？

~~~~~

「と、いつ風にだな……」

「んな、妄想の世界でしか通用しないような展開があるかよ」

「そうか？ しかし、恋の始まりというのは、えてして」

「うっせーよ」

全く、くだらない。

俺は、こんなあほな話を聞くために、わざわざこんなところにまで足を運んだのか……。

「お待たせしました。こちら、ホットコーヒーになります」

店員が、俺たちの前にカップを置いていく。

「はい、どーも」

「どーも」

ドラマチックな人生を生きてください。

「じゅっくり、どーぞ」

……ほら見る。

そんな展開があるはずないだろ。

「ほらな？」

「でも、少し期待しただろ？」

「してねーよ、バカ」

「どうだか」

だいたい、客と店員なんて、普通にしたら接点ゼロなんだよ。

1日に何人の客が出入りしていると思ってるんだ？

「いらっしゃいませ」

ほら、また新しい客だ。

女性の2人組。

俺たちの席の横を通って。

「きゃっ！……あっ！！ す、すみません」

確かに、大して広くない通路だが、机にぶつかることなんて滅多にない。

しかも、机の上に置いてあるカップを倒す勢いで、ぶつかることなんてありえない。

そう。

絶対に、ありえない。

「本当にすみません。ご洋服が……」

ドラマチックな人生を生きてください。

ここに、台本はないのだから。

## PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能たんのうしてください。

---

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。  
<http://ncode.syosetu.com/n9727c/>

---

題名のない短編小説 その4

2010年10月11日00時08分発行